

冬期道路交通ポータルサイトによる情報発信の取り組みについて (WEBサイト「おしえて！雪ナビ」を利用した冬期道路利用者向け情報提供)

松村 潤*1 神代 悠介*1

1. はじめに

冬期交通障害は、積雪による登坂不能車、路面凍結、立ち往生、渋滞、交通事故、地吹雪やそれに伴う人的被害など多岐にわたり、特に積雪地域では毎年の問題となっている。(図-1)

しかし多くの問題は、道路利用者や地域住民に適切な情報を提供することにより、大雪時の交通障害を防ぐことができると考えられる。

ただし、道路利用者や地域住民が求める情報は幅広く、情報提供元も様々であることから、関連情報を横断的に網羅した専門のポータルサイト等の仕組みが必要である。こうした背景から、北陸雪害対策技術センターは、道路管理者、関係機関、民間企業が発信する冬期道路に関する情報が一元化されたWebサイト「おしえて！雪ナビ」(<https://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/yukinavi/>)を平成28年度冬期に開設した。

本稿では「おしえて！雪ナビ」について、多くの情報を容易に閲覧できるように工夫を行ってきた運用・更新状況について報告を行う。(図-2)



図-2 冬期道路情報ポータルサイト「おしえて！雪ナビ」

2. サイト概要

「おしえて！雪ナビ」(以下、「雪ナビ」とする。)は、Web上で冬期道路情報を入手するための便利なツールとして利用していただき、道路利用者等が必要な情報の取得を容易とすることを目的として開設した。

道路利用者等に幅広く情報が行き渡ること、大雪時の外出自粛や迂回路の利用などの行動変容を促し、冬期交通障害発生抑制や円滑な交通を確保することも効果として見込んでいる。



図-1 2016年 1月 新潟県中越地域に寒波襲来

あわせて、各道路管理者の効率的な道路管理のために必要な情報も集約しているため、これらも活用することで、道路管理の面からも冬期交通障害の発生の抑制に寄与することを期待している。

3. サイト構成

サイトの構成としてはサイト概要で述べた通り、リンク集を主としたポータルサイトとなっている。掲載している内容としては、全国の地方整備局が発信する冬期道路に関する情報や、Twitter 情報、異常降雪時の取り組み、啓発・広報資料などにアクセスすることが可能である（表-1）。

これまで、道路利用者は自身が必要な情報が載っている冬期情報 Web サイトを個人で検索し探さなければならなかったが、冬期情報に特化したポータルサイト「おしえて！雪ナビ」を利用することでこれまでより簡単に自身の求めるサイトの閲覧が容易となっている。

表-1 Web サイトの掲載情報

情報	主な情報提供元
緊急情報	・国道事務所のTOPページ ・県の防災ポータルサイト
今後の雪	・気象庁HP
高速道路	・日本道路交通情報センター
雪に関する情報	・各地方整備局の集約サイト
ライブカメラ	・国道事務所のライブカメラ
規制情報	・国道事務所の情報
道路状況	・国道事務所の情報
お役立ち情報	・各機関の情報を集約

4. 緊急情報掲載

気象庁の「大雪に対する緊急発表」発表時、局・気象台・運輸局の三者合同で記者発表を実施する。

そこで、図-3のように大雪緊急情報を緊急時に「雪ナビ」のトップページに表示し、そこに記者発表資料へのリンクを追加し、道路利用者等に向けて情報発信を行い、「大雪に対する緊急発表」の周知を図る。

あわせて、道路利用者に適切な情報提供を行うことで、非常時であることの理解と、不要・不急の道路利用を控えることや出発時間の変更、迂回の選択等の行動変容につながり交通障害発生の抑制の効果を期待している。



図-3 「大雪に対する緊急発表」掲載イメージ

5. 広報に関する取り組み

「雪ナビ」をより多くの道路利用者に活用していただけるように北陸雪害対策センターTwitter（図-4）やチラシ、ポスター（図-5、図-6）を活用し広報を行っている。

また、試験的にスマートフォン広告の活用を令和2年度から行っている。内容としてはスマートフォンの位置情報と連動した広告であり、過去1年以内に設定したエリアを訪れた方を対象にWeb検索画面やアプリケーション上に広告が表示される。

スマートフォン広告の効果として、令和元年冬期と令和2年冬期のアクセス状況を比較すると図-7の通りとなる。少雪の年と雪害が発生した年の比較となり、雪害が発生した令和2年の方がアクセス数が多いが、降雪がなかった期間を比較すると降雪がなくとも令和2年の方がアクセス数が多くなっており、ターゲットとした配信先で利用されていると考察できる。



図-4 各機関によるTwitterでの情報提供状況



図-5 令和2年度冬期啓発ポスター掲載状況



図-6 令和3年度冬期啓発ポスター

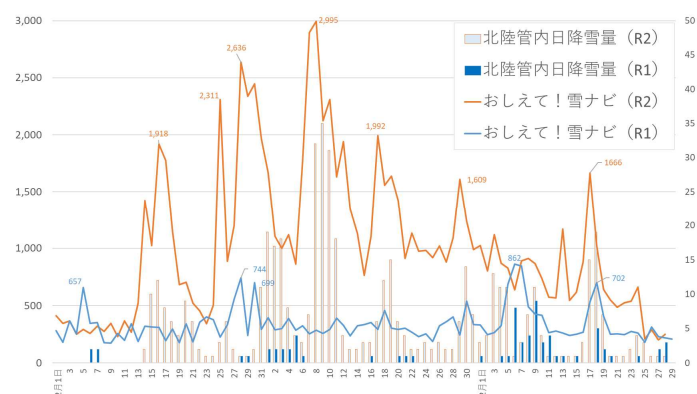


図-7 令和元年冬期と令和2年冬期の雪ナビアクセス数

6. 今後のサイト更新について

現状、「おしえて！雪ナビ」は平成28年度の開設から雪に関する資料やポスター、冬期写真等掲載情報の追加やリンク先の追加とサイトに掲載している情報が多くなってきている。

開設から5年が経過し、掲載情報が煩雑となっている現状を解消するため、情報の整理及びインターフェースの見直しを行い道路利用者への情報提供を円滑に行えるように更新を進める。

冬期の日常生活に必要な情報は「おしえて！雪ナビ」雪に関する資料や最新取り組みは北陸地方整備局が運営する情報サイト「雪のトップランナー」(図-8)と棲み分けし、運用していく。



図-8 雪のトップランナーWebサイト